

# JRIS

## 鉄道車両ーポリウレタン樹脂系屋根材

JRIS J 0747 : 2019

(JARI)

令和元年 11 月 27 日 改正

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(日本鉄道車輛工業会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

**日本鉄道車輛工業会 規格審査会 構成表**

	氏名	所 属
(委員長)	手塚 和彦	株式会社テス
(委員)	岸谷 克己	国土交通省鉄道局
	宮本 昌幸	明星大学名誉教授
	近藤 圭一郎	早稲田大学理工学術院
	古関 隆章	東京大学大学院
	佐々木 君章	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	菊地 隆寛	東日本旅客鉄道株式会社
	遠藤 康信	東京地下鉄株式会社
	島宗 亮平	株式会社総合車両製作所
	和嶋 武典	株式会社日立製作所
	四方田 圭一	日本製鉄株式会社
(鉄車工委員)	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(顧問)	溝口 正仁	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	井田 博敏	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

**日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表**

	氏名	所 属
(委員長)	岩 滝 雅 人	株式会社日立製作所
(委員)	塚原 克之	川崎重工業株式会社
	長澤 章二	日本車輛製造株式会社
	菅野 直哉	近畿車輛株式会社
	橋爪 進	株式会社総合車両製作所
	新澤 基彦	新潟トランス株式会社
	土井 裕	三菱重工エンジニアリング株式会社
	北林 英朗	株式会社日立製作所
	鶴田 慎一郎	東芝インフラシステムズ株式会社
	若林 良明	三菱電機株式会社
	梅澤 幸太郎	富士電機株式会社
	佐々木 敏夫	東洋電機製造株式会社
	四方田 圭一	日本製鉄株式会社
	高田 勝治	ナブテスコ株式会社
	平本 正幸	日本信号株式会社
	田中 幹男	株式会社京三製作所
(鉄車工委員)	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	井田 博敏	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	桑 名 寿	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

制 定 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 会長 制定 : 平成 22.8.5 改正 : 令和元.11.27  
 掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <https://www.tetsushako.or.jp>  
 発 行 者 : 一般社団法人 日本鉄道車輛工業会  
 (〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1901 NTT-FAX ; 03-3257-3200)

審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会

作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会にお願いします。

なお、この規格は、通常5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 構造	2
4.1 一般	2
4.2 屋根材の種類	2
4.3 屋根材の構造	2
4.4 標準施工工程	3
5 特性	3
6 屋根材施工後の特性	4
7 材料	4
7.1 一般	4
7.2 プライマーの種類	4
8 試験方法	5
8.1 試験片の作成	5
8.2 硬化時間	5
8.3 密度	5
8.4 引張強度, 伸び率	5
8.5 加熱寸法変化	5
8.6 加熱減量	5
8.7 吸水率	5
8.8 絶縁耐力	5
8.9 体積抵抗率	5
8.10 下地との密着性 (90°剥離試験)	6
8.11 下地との密着性 (密着性試験)	6
8.12 耐寒性 (屈曲性試験)	6
8.13 耐寒性 (温冷繰り返し試験)	6
8.14 促進耐候性	6
8.15 耐燃焼性	6
8.16 外観 (完成車両)	6
8.17 耐絶縁性 (完成車両)	6
9 試験の種類及び項目	6
9.1 形式試験	7
9.2 受渡試験	7
9.3 調査試験	7

10 表示 .....	7
11 取扱時の注意 .....	7
附属書 A (参考) 屋根材の取扱時の注意 .....	8
解 説 .....	11

## まえがき

この規格は、JRIS 整備車体部会において改正すべきとの申出があり、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に基づき、鉄車工規格審査会の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。これによって、JRIS J 0747:2013 は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

### JRIS “Jシリーズ” 制定の背景

鉄車工規格（JRIS）は、国際規格との整合化の方針に沿って1995年以降に性能基準化されたJISとともに、鉄道車両業界で必要とされる事項を規格として定めることとして、2003年から制定・登録を行っている。

JRIS “Jシリーズ” は、1987年の民営分割化により、旧日本国有鉄道によって制定された鉄道に関わる規格（JRS）を継続的に管理する体制がなくなったため、今後も継続して利用する可能性の高い規格を技術の進展に沿った見直しを行った後に、2003年から鉄車工規格として制定・登録するとともに、その後の技術の進化に対応するため整備を継続しているものである。

なお、“Jシリーズ”の規格番号は、前身となるJRS番号とは関連なく定められている。

JRIS は、制定の背景や関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成されている。この規格の“Jシリーズ”のほかには、“D”、“E”、“R”及び“W”シリーズがある。

白 紙

## 鉄道車両—ポリウレタン樹脂系屋根材

## Rolling stock—Roof coatings—Polyurethane resin

## 1 適用範囲

この規格は、電気絶縁又は防水の目的で、鉄道車両の屋根に塗布するポリウレタン樹脂系屋根材について規定する。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1415:2013 高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法

JIS A 1454:2005 高分子系張り床材試験方法

JIS C 2110-1:2010 固体電気絶縁材料—絶縁破壊の強さの試験方法—第1部:商用周波数交流電圧印加による試験

JIS E 4001 鉄道車両—用語

JIS E 4014 鉄道車両—絶縁抵抗及び耐電圧試験方法

JIS H 8300 亜鉛、アルミニウム及びそれらの合金溶射

JIS K 5633 エッチングプライマー

JIS K 6251:2004 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—引張特性の求め方

JIS K 6854-1:1999 接着剤—はく離接着強さ試験方法—第1部:90度はく離

JIS K 6900 プラスチック—用語

JIS K 6911:2006 熱硬化性プラスチック—一般試験方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

規格概要につき以下は省略する。